

リケジョ - 未来シンポジウム@Ibaraki

サイエンスの学びから将来の夢へ

みとちゃんも
お出迎え!!

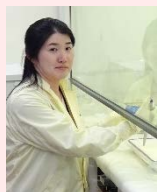
- ◆ 日時 : 2017年12月16日(土) 14時~17時
- ◆ 会場 : 駿優教育会館 4階 (水戸駅前)
- ◆ 対象 : 女子高校生・中学生、保護者、教員、女子大学生
- ◆ 参加費 : 無料
- ◆ 主催 : 国立大学法人お茶の水女子大学 理系女性教育開発共同機構
- ◆ 後援 : 茨城県、国立女性教育会館

多くの理系女性が、研究を始めとして多様な職種で活躍しています。「なぜ理系を選んだか、理系を選んで何がよかったか、大学での学びがどのように役立っているか」を含めて、先輩たちの経験を聞き、直接お話ししてみましょ。きっとあなたの将来に向けてヒントがありますよ。

開会挨拶

講演 (14:10~15:40)

講演者 (敬称略、カッコ内は学生時代の専門分野)



原賀 智子 (化学) 日本原子力研究開発機構

『理系出身者がいっぱいー原子力分野の化学のしごとー』

原子力分野では、いろいろな理系出身者が働いています。私は化学の知識を生かして、放射性物質を測る研究を行っています。ふり返ってみると、「好きなこと・得意なこと」を選んできた結果、今にいたっています。これまでの経験が皆さんの参考になればと思います。



平山 奈津実 (化学) コニカミノルタ株式会社 開発統括本部 (茨城県出身)

『理系に進んで今思うこと~将来の夢を大切に~』

理系に進んだ理由、化学を専攻した理由など、これまで道のりをお話したいと思っています。みなさんよりちょっとだけ先輩の私ですが、少しでも参考になればと思います。



鵜沢 美穂子 (生物学) ミュージアムパーク茨城県自然博物館 副主任学芸員

『コケの学芸員になるまで』

大学に入った頃は漠然と生物系の研究者になることを考えていましたが、在学中の様々な経験を経て、高校生の頃から好きだった「コケ」を専門とする学芸員になることを決意しました。学芸員になるまでの道のりや、博物館での仕事について、また、仕事と家庭について考えていることなどをお話したいと思っています。

パネルディスカッション (15:50~16:20)

ファシリテーター: 木村 美智子 (茨城大学教育学部 教授)

閉会挨拶

- ◆ 閉会后、茶話会 (16:30~17:00) ※講演者とお話しできます
- ◆ 申込み・問い合わせ先

申込フォーム <https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/stem/Ibaraki> から
またはE-mail、FAXで『リケジョ・未来シンポジウム@Ibaraki参加希望』
と書き、氏名(学校名/学年/連絡先/茶話会参加の有無)を明記の上
12/13(水)までにお申し込みください。

お茶の水女子大学 理系女性教育開発共同機構 (<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/>)

E-mail: coreofstem-sympo@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5825 FAX: 03-5978-2650

要申込
定員100名